

# 2016年度(平成28年度)事業報告書 2017年度(平成29年度)事業計画案

2017年(平成29年)6月11日

埼玉県ふじみ野市上福岡5丁目4番25号  
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

代表者氏名 石井ナナエ

電話番号 049-256-4290



事業報告一覧.....	2	5 子どもの健全育成	
総括報告.....	3	5-1 国際子どもクラブ.....	10
1 外国人の人権擁護と自立支援		6 外国人への緊急時対策	
1-1 生活相談.....	3	6-1 緊急時情報提供.....	12
1-2 シェルター.....	4	7 まちづくりの推進	
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	5	7-1 行政との協働事業.....	12
1-4 パソコン教室.....	5	7-2 行政関係会議・関係事業.....	12
2 国際理解教育と国際交流の推進		8 NPO への助言・援助	
2-1 国際理解講座, イベント.....	6	8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク.....	14
2-2 国際交流サロン.....	7	9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
2-3 大学との協働.....	7	9-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	14
2-4 語学教室.....	7	9-2 ホームページ・Facebook.....	15
3 多言語情報の収集と提供		9-3 FICEC 利用状況.....	16
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」..	7	9-4 その他 [FICEC 事業・理事会・スタッフ会議]	
3-2 生活ガイドホームページ.....	9	.....	16
3-3 翻訳.....	9		
4 外国籍児童並びに成人への日本語指導			
4-1 日本語教室.....	9		

事業計画(案)..... 19

事業計画一覧

## キーワード

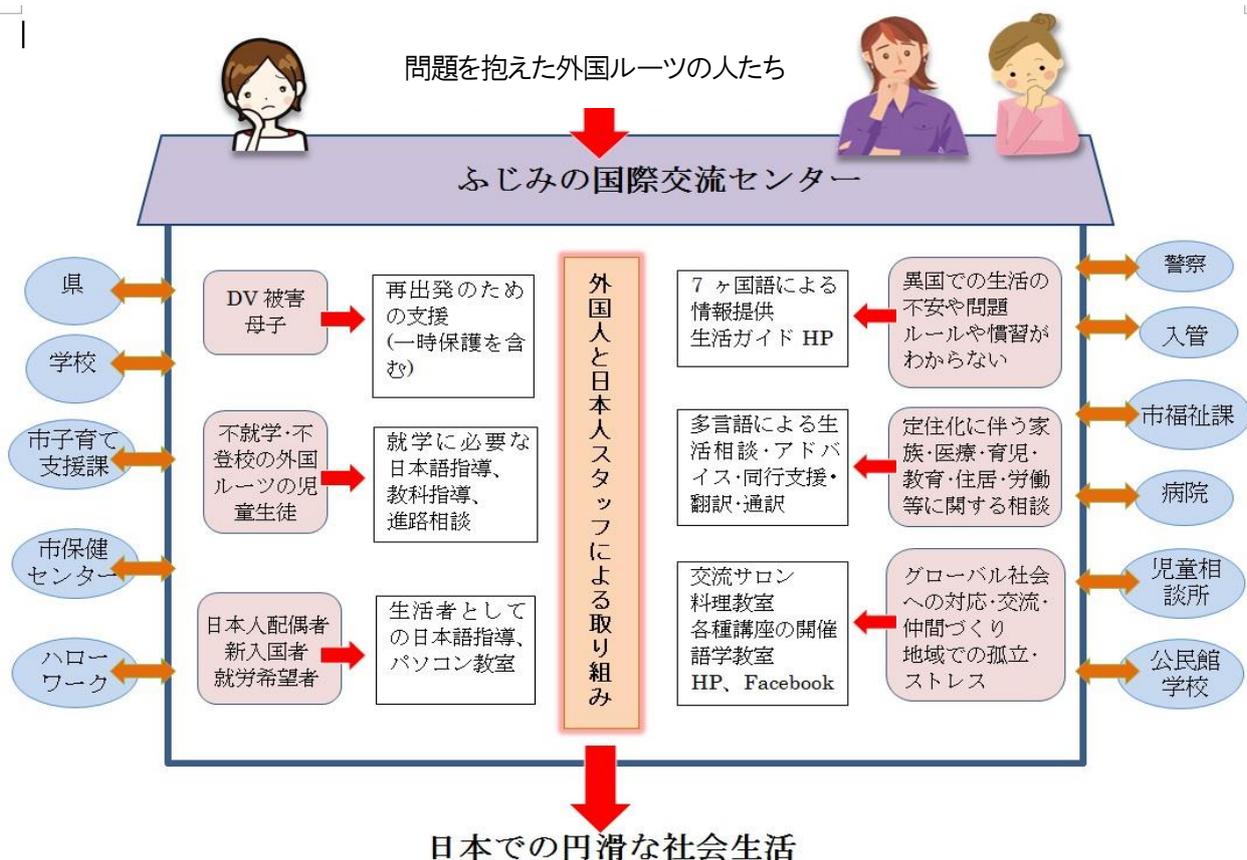
# 多文化が未来を拓く

## ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国ルーツの人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

## ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する。
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする。
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する。 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する。
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する。
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る。
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる。 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する。



## 2016年度(平成28年度) 事業報告

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10名	533件	2,827
	シェルター	通年	FICEC	10名	延 516名	
	DV講習会・生活相談勉強会	3回	埼玉県庁ほか	1名	300名	
	パソコン教室	第2,4木曜 22回	FICEC	2名	延 85名	
国際理解教育と国際交流の推進	国際理解講座・イベント	29回	大学、社協 他	5名	約3,000名	343
	国際交流サロン	6回	FICEC 他	5名	約200名	
	大学との協働	1大学	大学・県NPO活動推進課	3名	延 45名	
	語学教室	87回	FICEC	2名	延 130名	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回 3000部	FICEC	13名	12万人	1,182
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8名	アクセス数 113,372件	
	翻訳	70件	FICEC、県内	20名	埼玉県民	
	出版、編集	必要に応じて	FICEC 他	6名	埼玉県民	
外国籍児童並びに成人への日本語指導	日本語教室	木曜を中心に通年	FICEC	11名	延 286名	100
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜を中心に通年	FICEC	15名	延 1,202名	204
外国人への緊急時対策	緊急時情報提供	通年	県内	15名	埼玉県民	
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	30名	埼玉県民	
NPOへの助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	13回	県内	3名	埼玉県民	
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	機関誌の発行	隔月	FICEC	11名	6,000部	217
	ホームページ・Facebook	随時	FICEC	3名	アクセス数 482,404件	

## 《総括報告》

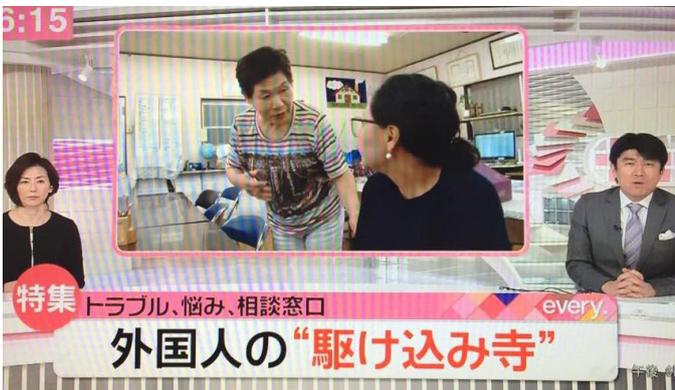
28年中に来日した外国人がついに2000万人を超え、23,821,822人になった。在住外国人も230万人を超え、総人口の1.9%になり、外国人を扱ったテレビ番組も増えている。やっと彼らを意識するようになったのかと喜ぶたいが、面白おかしく扱った番組が多く、生活者や隣人としての外国人に対しては事件が起きた時だけの扱いで、相変わらず遠巻きにして近寄らない感がある。

法務省の報告通り、FICECで学習する人も中国・フィリピン人に加えて、ベトナム人やネパール人、難民申請中の特定活動ビザの人が増えている。

利用者が様変わりしてはいるものの、4月から常駐の事務員さんが入り、スタッフ間の連絡がスムーズに回るようになり、15の事業は順調に進んでいる。

今年度は補助金や助成金による特別事業がなかったせいか、静かに穏やかに過ぎた感がある。

ところが12月末にテレビでFICECの活動が紹介されるや、あちこちから連絡が入るようになった。「困っている外国人にこれをあげてください」「わが子が使ったランドセルですが、日本に来た外国人の子どもにあげてください」とか「私ができることがあったらお手伝いしたい」とか、真新しい文房具をどっさり贈ってきてくださった人もいる。



生活相談に至っては大阪や北海道からも電話が入るようになり、今さらながらテレビの影響力の大きさに驚いている。

テレビでは合計4回FICECを取り上げていただいたが、今回は年末の夕飯時だったせいか今まで以上に反響が大きかったのだと思う。1年の最後に20周年事業に代わる大きなプレゼントをいただいた気がする。

(文責：石井ナナエ)

## 1 外国籍等市民の人権擁護と自立支援

### ■1-1 生活相談

夫とのトラブル、子どもの進路、保育所の入所申し込みの代筆など、ふじみ野市・富士見市・三芳町はもちろんのこと、県内各地から今年も533件の相談があった。

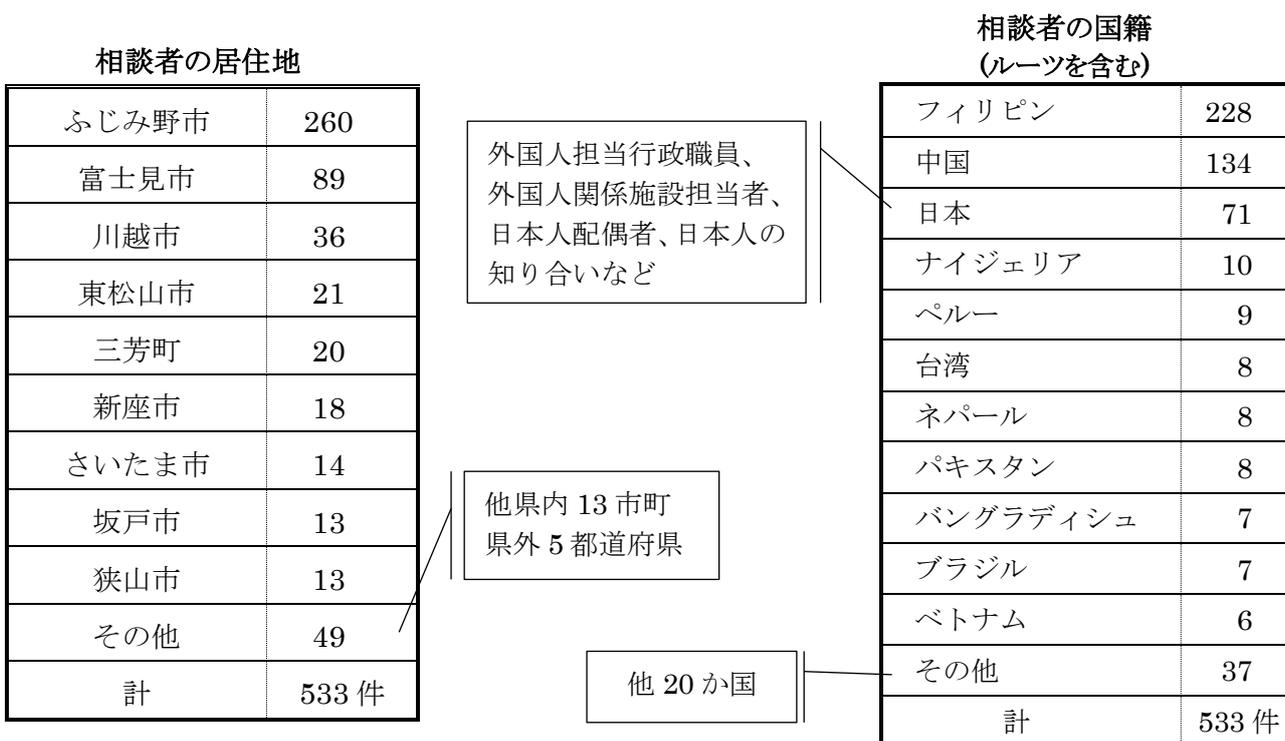
今までと違うのは、会社を立ち上げるための書類の作成とか、古物商の免許を取りたいとか、年末調整の仕方の相談や、永住ビザや帰化申請の相談が多くあった点で、外国人が移住型でなく定住型に変わっている様子がよくわかる。

「重要な他者」という言葉がよく使われるようになったが、家族ではないけれど、FICECは本気で外国人の事を考えるスタッフがたくさんいる所であり続けたいと考えている。

## 2016年度(平成28年度)中に受けた相談内容の内訳

医 療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	25
家 族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	73
教 育	日本語支援、学習支援、入園・入学手続き、学校との連絡	122
言 語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	47
司 法	税金、犯罪、裁判所・法務局への同行・支援、子どもの国籍	10
住 居	住まい探し、引越しの手伝い	17
生 活	生活費、生活保護、友達・近隣関係、国民年金・保険手続き、遺族年金	127
入 管	ビザ、在留カード申請・更新、帰化、帰国、保証人	54
労 働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害、労災保険	58
合 計		533 件

※継続的に対応している日本語支援や学習支援は1人につき、1回/月として集計



### ■1-2-1 シェルター

DV 被害者が後を絶たない上に、シェルターからの転宅が難しくなった。その理由の1つが、外国人に部屋を貸してくれる大家さんが少ない。2つ目は、保証会社の審査が難しく、やっとアパートを見つけても審査の段階で断られてしまう例が多い。外国人はいや、母子家庭はいや、生活保護家庭はいや、日本語がわからないからいや、DV 加害者が押しかけてくるかもしれないからいやと、いやがられることばかり。

それに加えて、転宅先の行政との生活保護の移管がすごく難しい。「なんでうちの市に来るのか」「県外になぜ行かないのか」「ふじみの国際交流センターの近くで暮らした方がいいのではないかと拒否される。生活保護受給外国人母子を増やしたくない気持ちはわからないでもないが、本気でやってきたことが根底から覆されることもあり、シェルター事業の限界を感じるが多い。しかし DV で傷つき、

家探しで心を痛め、仕事も思うように見つからず、保育園探しで悩んでいる彼女たちの気持ちを考えると、事業を続けざるを得ないというのが現実である。

入居者国籍	子どもの数	入居期間	シェルター退去後の様子
フィリピン	3人	45日	新しい学校に転校したがいじめに遭い、元の地域に戻った
フィリピン	2人	58日	離婚が成立し、保育園の入居もきまり今春から働き始める
中国	1人	81日	転宅後1ヶ月で仕事を探し、保育園も優先して入所でき、働き始めた

### ■1-2-2 DV被害者の就労を目的とした継続支援

平成26年から始まったDV被害者を対象とした継続支援も年を追うごとにその重要性が増している感がある。埼玉県からの委託の目的である「就業を促す」事を最重要課題として、日常生活の指導や助言は言うに及ばず、最初は生活保護に頼らざるを得ないが、DV被害女性が1日も早く仕事を始め、生活保護から脱却できるように、会社を探したり、面接に同行したり、子どもを1時預かったりする。

しかし、シェルターを出てアパートに転宅したものの、日本語の読み書きができない外国人女性が、知り合いが一人もない新しい所で母子だけで生活する事はかなり大変な様子で、DV夫との離婚訴訟などの大きな問題で悩む日も多く、就労の意欲がわからない現実がある。

彼ら母子が生活保護に頼らず、自ら働き、健全に暮らせるように、シェルター退去後の1、2年はまめに電話をしたり家庭訪問をして様子を聞いたり、面倒を見る必要があると感じている。

継続支援の対象者	家庭訪問	同行支援	面談による相談	電話での相談
24人	2回	25回	23回	56回

### ■1-3 DV講習会・生活相談勉強会

平成14年にDV法が施行され、夫婦喧嘩と暴力の違いについて社会が認識するようになった。

ストーカー規制法も年々内容が改正されている。被害者に対して正しい情報を提供し、よりよい支援ができるように、講習会やDV対策会議には必ず出席して、生活相談やシェルター事業から見えてきた実状を積極的に報告し、改善策などを提案している。

- ・DV講座〔5/11,25〕(WITH YOU 埼玉)
- ・DV連携会議〔9/16〕(教育会館)

### ■1-4 パソコン教室

例年通りの外国人枠・スタッフ・日本人枠の3ブロック体制で行った。受講者のレベルもかなり向上し、定着率も良い状態である。2017年度は外国人の新規受講者を若干増やして、より幅広い方々のパソコン修得に役立つようにサポートしていきたい。外国籍の方、スタッフのみなさん、ぜひチャレンジしてください。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	22回
講師	4	4	4	2	4	4	4	4	2	3	4	4	43人

学習者	外国人	2	3	5	3	4	4	3	8	3	3	2	3	43人
	日本人	2	3	4	2	1	3	3	5	1	6	5	7	42人
	合計	4	6	9	5	5	7	6	13	4	9	7	10	85人

## 2 国際理解教育と国際交流の推進

### ■2-1 国際理解講座

大学や市町村が主催する国際理解講座に、今年度は29回も呼ばれた。外国人が日本の全人口の2%に達してやっと、「外国人について少しは考えなければ」という風潮になってきたのだろうか。オリンピックの影響もあるかもしれない。また、子どもの貧困が問題視される中で、外国人の子どもも含めて考えてくれるようになってきている。

今年特に目立ったのが「外国人の方から是非、ヘイトスピーチについて直接話を聞きたい」というオーダーが5件もあった。講演後に感想を聞くと、どこの市でも「外国人の話を直接聞いて良かった」と好評で、すでに新年度の予約も来ている。

5/19	国際理解講座	東洋大学	11/16	国際理解講座	東京家政大学
5/20	国際理解講座	東洋大学	11/17	国際理解講座	文京大学
6/23	国際理解講座	ふじみ野市	11/28	国際理解講座	入間市
7/27	国際理解講座	国際交流協会	12/1	人権講座	横瀬町
8/17	国際理解講座	和光市	12/13	国際理解講座	立教大学
8/1	多文化共生講座	静岡県沼津市	12/9	国際理解講座	東朝霞公民館
8/2	国際理解講座	立教大学	1/5	国際理解講座	越生町
8/3	国際理解講座	草加市	1/5	国際理解講座	越生町
9/10	国際理解講座	毛呂山町	1/14	国際理解講座	羽生市
9/15	国際理解講座	八潮高校	1/15	国際理解講座	八潮市
10/12	人権講座	加須市	1/18	人権講座	富士見市役所
10/14	国際理解講座	大井総合支所	1/24	国際理解講座	越谷市
10/30	国際理解講座	上尾市	1/30	人権講座	三芳町
11/1	国際理解講座	浦和ルーテル学院	2/2	人権講座	富士見市
11/10	国際理解講座	坂戸西高校			

### ■2-2 国際交流サロン

日常 FICEC に来ていない外国人や日本人がたくさん参加してくれた。

- ・バザー開催 [5/23、11/20]
- ・ウズベキスタンの話を聞く会 [3/11]



## ■2-3 大学との協働

### FICEC 日本語教室と日本工業大学（宮代町）共同による「外国人向け日本語ソフトの開発」

埼玉県北東部に位置する日本工業大学は創立 50 周年を迎える新しい工業大学である。

情報工学科ソフトウェアデザインコースの専修コースとして 3 年生の課題研究が続けられてきた本企画も 4 年目となった。開発内容は、外国人向け日本語ソフトの開発と言うことで、企画内容の変更はなく毎年次年度の 3 年生が先輩の研究分を改善することに研究は続けられている。

5 月と 2 月、日本工業大学の学生が FICEC を訪れ、FICEC 側からは、4 月と 10 月大学を訪問し意見交換を行った。

ソフト内容は 4 点、企画は変更ないが、学生は毎年変わるので、その都度、開発にかかわる内容の精度に改良は加えられ新しい発見がみられる。

そのうち本年は、「簡単に覚えられる漢字の書き方」が完成と言うことで、私たちの具体的な活動に、結果を期待されることになった。

ちなみに開発中の 4 企画（タイトルは仮題）内容は次のとおりである。

#### ●開発ソフト 1 「教室にあるものを調べてみよう！」

初来日した子が小学校で見聞きするさまざまなケースを紹介し、1 日でも早く学校や友達と溶け込めるよう手助けするソフト。

#### ●開発ソフト 2 「簡単に覚えられる漢字の書き方」

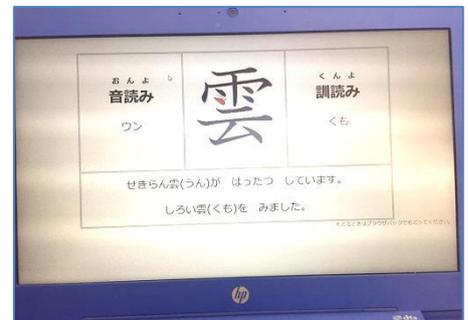
漢字の習得はなかなか進まないもの。進捗を進めるために漢字を生き物のように静から動へとビジュアルに訴えて理解を進めさせるよう工夫したもの。

#### ●開発ソフト 3 「スマートフォン対応の漢字練習帳」

漢字練習の大人バージョン。時間が有ればどこでも学べるようスマートフォンを使った漢字学習ソフトとなっている。

#### ●開発ソフト 4 「日本語マスター・・・とりあえず街に出かけてみよう」

町中にある生活に必要な様々な施設とその使い方を示唆するもの。病院、銀行、郵便局、警察、駅等々、それぞれの使い方を簡単に説明、1 日でも早く生活に慣れてもらおうというソフト。日本語教室で大いに役立つことが予測される。



## ■2-4 語学教室

英語教室〔毎月月曜日 12:30~13:30〕

ロシア人の先生を囲んで、毎週和やかに開かれている。

## 3 多言語情報の収集と提供

### ■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

企画会議においては、隔月刊と言うこともあるため、本来身近で、リアルタイムの有るべき 2 市 1 町の生活情報を多く紹介できるよう腐心してきたが、時間的な制約が壁となって話題を拾うことが困難に

なっている。今後は、自主企画が多くならざるを得ないような感じであり検討も行っている。

富士見市では「広報 ふじみ」に数年前から本誌の紹介をいただいているが、隔月刊に合わせて、本年も引き続き掲載いただいた。市内においても関係部署に配布されている。

不特定多数の市民については、ホームページ (<http://www.ficec.jp/foreign/>) でも「外国語のページ」

として掲載されアクセス数が話題になること多少なりとも、

FICEC の存在を強調する素材として有意義で有ると信じ、担当される皆さんの努力に敬意を払う。

- 翻訳言語 [中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語]
- 発行回数 [隔月刊 年 6 回] ● 発行部数 [3000 部]
- 発行日 [隔月 1 日]
- 配布場所 [2 市 1 町の公的機関、県下主要公的機関、各日本語教室受講生への配布。全会員には日本語のみ郵送]
- 活動内容 [毎月 1 回第 1 火曜日を編集会議に充て内容の充実を図っている。]
- 作業の流れ [企画決定⇒原稿作成⇒翻訳依頼 (一部アメリカ・フィリピンへ) ⇒受領⇒内容精査⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布]
- スタッフ [企画・原稿作成・編集・印刷・配布関係で計 7 名]
- 翻訳者 [6 名 (6 か国語)]



主たるテーマとその他の記事	
215 号 4・5 月号	「いじめ」無くせるのは私たちです ・ふじみ野市ふるさとハローワークで就職相談ができます ・アパート退去時の原状回復にトラブルが増えています ・外国人相談時間が変更になりました
216 号 6・7 月号	「国民皆保健」を知っていますか ・外国人の皆さんへ…警察からのお願い ・外国人向け地図記号 1 5 種類 ・外国人のためのパソコン教室
217 号 8・9 月号	「リボ払い」良く考えて使いましょう ・8 月、9 月の近隣お楽しみ Close up ・特定健診・健康診査を受けましょう ・増加中です「架空請求」犯罪に注意
218 号 10・11 月号	生活保護、こうした申請は違反です ・「つるせ・よさこい祭り」のお知らせ ・FICEC の日本語教室のお知らせ ・自転車の安全利用条例が各地に誕生 ・来年小学校に入るお子さんの健康診断が始まります ・特定健康診査の締め切りが迫っています
219 号 12・1 月号	粗大ごみ…不法投棄は犯罪です ・インフルエンザ、ノロウイルスは予防注射と手洗い徹底で防衛しよう ・FICEC12 月、1 月のお楽しみ行事
220 号 2・3 月号	隠れている暴力 Date DV ・差別とは何か…差別をなくするための日本語 ・3 月の日本語教室イベント案内

### ■3-2 生活ガイドホームページ

ふじみ野市、富士見市、三芳町からの委託事業で、2市1町が連携して毎年更新した行政情報を掲載し、3市町のホームページにもリンクが貼られている。日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語に対応し、年間約11万件超のアクセス数がある。このホームページの特徴は5ヶ国語に対応しているだけでなく、日本版のページから素早く、各言語の同じページを表示できるようにしていることである。外国人はもとより、難しい行政用語や手続きの説明に窓口対応の行政職員をはじめ外国人支援をしている日本人にも活用してほしい。また、ふじみ野市、富士見市、三芳町別に公共施設一覧や緊急に必要となる医療機関の情報も掲載している。

### ■3-3 翻訳

民間からの翻訳依頼の合計数は90件で3分の2がフィリピン人からの依頼の書類の翻訳であった。

#### ●依頼者の国籍

[フィリピン60件、日本15件、ネパール4件、中国4件、韓国2件、パキスタン2件、ギニア1件、スリランカ1件、モンゴル1件、バングラディッシュ1件、ナイジェリア1件、インド1件、ガーナ1件]

#### ●翻訳内容

[出生証明書、婚姻届け、結婚証明書、住民票、戸籍謄本、離婚証明書、離婚同意書、卒業証明書、在学証明、成績証明書、所得証明書、就業証明書、誓約書、洗礼証明書、裁判資料、各種レター他]

#### ●言語別

[英語→日本語31件、日本語→英語13件、中国語→日本語3件、韓国語→日本語2件など]

## 4 外国籍児童並びに成人への日本語指導

### ■4-1 日本語教室

学習曜日・時間	毎週木曜日 10:00~12:00 (祝日、お盆 8/13~15、年末年始 12/28~1/5 は休み)
開講回数	47回
学習者数	延べ286人 平均6.1人 最高13人 最低4人
国別学習者	延べ人数の多い順に中国、フィリピン、ベトナム、ネパール、バングラディッシュ

本年度中旬から学習者は少しずつ増加、平均6.1人という数字となっている。最近の傾向としては、子ども連れの主婦が多くなってきた。またボランティアの数も増加傾向にあることは喜ばしいことである。



● 日本文化を味わってもらう事業



4/28	端午の節句
7/7	七夕と納涼ソーメン試食会
12/2	蕎麦打ち
1/12	書き初めおよび鏡開き
3/2	桃の節句

短時間で有るが、日本文化を楽しんでもらう試みも例年通り賑やかに実施できた。

季節を追って開催してきた企画で、日本文化ともいえる伝

統行事を取り入れ少しでも日本の心を理解してもらえたらと実施しているのが「日本の文化を味わってもらう事業」である。

桃の節句、端午の節句などでは華麗な人形が飾られ、琴の名演奏などに並行し琴の体験などでもりあがった。

今後は、1年に1回くらいは外国籍の学習者の演出による行事なども取り入れたい。

● 二市一町日本語教室ボランティアネットワーク（日本語ボランティア連絡会）

東上線沿線日本語教室の連帯を図るべく、近隣のボランティア団体と手を携え情報交換をしようと言うことで始まった連絡会。各教室が多忙と言う点を考え10月以降、半年毎と言うことで実施している。回数は減ったが今後推進する柱を「外国人市民をサポートする日本語教室の設置」をテーマに統一し、行政に各教室が継続アピールすることとした。

参加団体

- ・朝霞インターナショナルソサイエティー（AIS）
- ・イーブン
- ・大井親子日本語教室
- ・大井弁天の森日本語サロン
- ・新座日本語の会
- ・富士見日本語サークル
- ・ふじみの国際交流センター日本語教室
- ・三芳日本語教室藤久保
- ・和光国際交流会
- ・上福岡西公民館日本語教室(脱会)

連絡会（6か月ごとの開催）

開催日	幹事日本語クラス	開催場所
10/2	新座日本語の会	新座東北コミュニティセンター
3/12	富士見日本語サークル	鶴瀬西交流センター

5 子どもの健全育成

■5-1 国際子どもクラブ

① 参加者（平日）

単位（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	49	28	32	33	38	28	21	13	7	11	19	52	331
指導者	13	17	19	19	26	15	14	12	5	9	13	32	194
計	62	45	51	52	64	43	35	25	12	20	31	84	525

\*4月の始業日から5月連休明けまで、日本語の勉強に通ってきた小中学生が沢山いた。

(小学生5名 中学生2名 )

\*4月～3月を通して、2～3名の生徒（高校受験希望者）が週3、4回全日学習に来た。

\*単位制高校や定時制高校に進学した生徒が、平日に勉強に通ってきた。

\*キリスト教会関係の給付型奨学金を2名が1年間授与されることになった。

② 参加者（土曜日のみ）

単位 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	90	81	91	108	68	91	81	56	34	66	54	51	871
指導者	47	37	37	52	31	38	44	38	34	43	41	33	475
計	137	118	128	160	99	129	125	94	68	109	95	84	1346

\*学習者が増えてきたので、〔9:00～10:30 小学生〕〔10:00～12:00 中学生〕〔11:00～13:00 高校生〕で教えることにした。

その結果、中高校生が集中して学習出来た。また、小学生の学習者が急増した。

\*その他の取り組み

学校の転入手続き、進路相談、入学試験面接練習、入試願書手続き、高校入学手続、アルバイト支援

③ 学習者のルーツ

中国	16人	フィリピン	20人	ウズベキスタン	2人	ベトナム	1人
パキスタン	1人	メキシコ	1人	コスタリカ	1人		

④ 今年度の取り組みに対して

〈良い点〉

- ・参加しているボランティアはみんな力量があり、とても助けられた。奨学金の紹介をしてくれた人もおり、生徒の学ぶ意欲向上につながった。
- ・小学校入学前教育、日本語指導、小中高の教科の指導、受験指導のできる体制が出来ている。
- ・ふじみ野市主催の「七夕まつり」に、高校生主体の「ヨーヨーの店」を出すことが出来た。育っていく若い力を活用できた。



〈問題点〉

- ・日本語が出来るまで、学校へは1時間程度の出席で、外部団体で学習するようなシステムを組む市教委や小中学校が増えて、対応に追われた。
- ・土曜日の登校日（部活、授業等）が増えて、参加出来ない中学生が増えてきた。

〈課題〉

- ・土曜日の学校登校日が増えてくることが考えられる。今後子どもクラブ開催日をいつにするか考える必要がある。
- ・高校生の参加者が増えてきた。高校卒業までの支援、その後の進路相談、大学入試の取り組みなど、

課題も増えてきた。成長を確かめられる喜びと同時に、支援者自身が沢山の選択肢を持ち、助言できるようになる必要を感じる。

## 6 外国人への緊急時対策

### ■6-1 緊急時情報提供

- ・三芳町防災ガイドマップ（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）
- ・8/28 九都県市合同防災訓練に参加。防災カードを配布した

## 7 まちづくりの推進

### ■7-1 行政との協働事業

- 1) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国人生活相談窓口業務」を受託（参照 1-1）
- 2) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国籍市民のための生活ガイドホームページ維持管理業務」を受託（参照 3-2）
- 3) ふじみ野市生活ガイドブック更新事業（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語）を受託
- 4) 三芳町より
  - ・三芳町防災ガイドマップ（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）を受託
  - ・平成 29 年度保健センター事業一覧（英語・中国語・韓国語・タガログ語を受託）
  - ・平成 29 年度家庭ごみの正しい分け方・出し方・日程（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）を受託



### ■7-2 行政関係会議・関係事業

富士見市・ふじみ野市・三芳町はもとより、埼玉県からも審議会委員や理事を委託されるようになった。FICEC の活動が様々な分野に関わっているのと同時に、まじめに地道に活動を続けてきた事が信頼につながっているのだと思う。活動から得た経験や、行政に対する意見が発言できる良い機会なので、大いに活用したい。

6/5	ふじみ野市元気健康フェア	保健センター
6/10、2/14	2市1町国際化担当者会議	ふじみ野市役所・富士見市図書館
全2回	ふじみ野市男女共同参画会議	ふじみ野市役所
全4回	ふじみ野市福祉関係者定例学習会	ふじみ野市役所
全6回	ふじみ野市社会福祉協議会理事会	フクトピア
全2回	ふじみ野市児童センター運営委員会	ふじみ野市役所

全 3 回	ふじみの市地域福祉計画策定委員会	大井総合支所
全 10 回	ふじみ野市社会教育委員会	ふじみ野市役所
全 6 回	ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会	ふじみ野市役所
5/26,6/16,9/15	ふじみ野市平和推進事業実行委員会	ふじみ野市役所
10/1	ふじみ野市平和祈念フェスティバル 平和のためのハーモニーを奏でよう“1人1人の小さな一歩で”	市民交流プラザ
12/4	ふじみ野市市民活動交流会 活動展示	市民交流プラザ
全 5 回	ふじみ野市 要保護児童対策委員会	ふじみ野市役所
全 3 回	ふじみ野市 まちづくり対策審議委員会	ふじみ野市役所
全 2 回	彩の国埼玉国際交流協力協議会・幹事会	浦和地方庁舎
全 3 回	埼玉県 人権教育担当者会議	県民健康センター
全 4 回	埼玉県 DV 対策審議会議	教育会館

◆三芳町関連

1) 子ども大学みよし (FICEC 実行委員として参加)

・開校期間：6/25～11/19 ・参加児童：48名（4年生20名、5年生17名、6年生11名）	
6/25	入学式、講義「パネルシアターを作って体験しよう」（淑徳大学埼玉キャンパス）
7/28	講義「町の健康サポート 総合病院のお仕事を学ぶ」（イムス三芳総合病院）
8/19	講義「お金の教室 銀行の役目って何だろう」（埼玉りそな銀行鶴瀬支店）
9/10	講義「テレビ番組ってどうやってできるの？」J-COM 川越局
11/19	講義「日本全国 47 の魅力を発見！」修了式（淑徳大学埼玉キャンパス）
3/1	実行委員会 平成 28 年度総括、29 年度企画・運営

2) 三芳町協働のまちづくり

11/20	三芳町協働のまちづくりネット交流会に参加
3/11	まちづくりフェア 2017 に参加（活動展示）
3/22	まちづくり協働推進会議に出席

「三芳町協働まちづくりネットワーク」は平成 20 年から住民が行政各担当課と連携しながらモデル事業を企画・実施している組織で、5つの分野グループが活動している。

〔①健康福祉グループ ②みどり安全グループ ③都市安全グループ ④産業観光グループ  
⑤教育文化グループ〕

まちづくり推進計画策定、組織・事業等は協働推進本部が設置され、町内の法人その他の団体との調整・連携等を行っており、FICEC は協働推進会議の委員として参加している。

## ■8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク

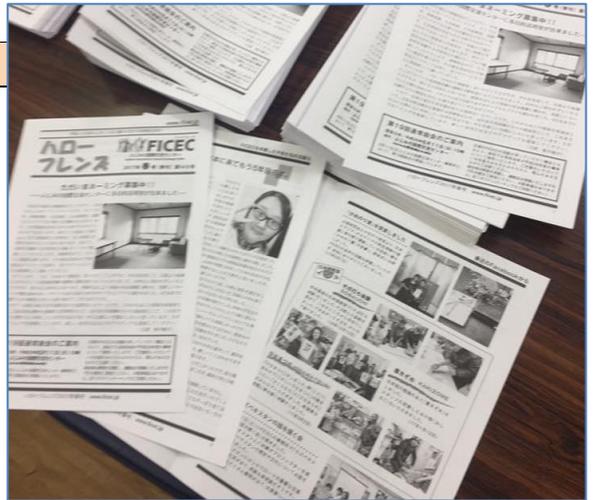
1) 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク団体		
参加団体 205	埼玉県、(公財)埼玉県国際交流協会、埼玉県内 63 市町村、市町村国際交流協会及び NGO 参加団体	
5/27	28 年度第 1 回幹事会	埼玉県国際交流協会事務所
6/10	全大会	浦和合同庁舎講堂
2) 埼玉国際協力協議会 (NGO ネット)		
4/21,5/17,6/29,7/29,10/19,12/1,29/1/10,3/10	定例会・勉強会	さいたま市市民活動サポートセンター
2/12	グローバルセミナー2017	コープブラザ浦和
3) 南西部地域 NPO 連絡会		
2/17	勉強会：地区社協について	和光市社会福祉会館

## 9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## ■9-1 機関誌「ハローフレンズ」

## 2016年春号 (第139号)

- 5 人全員高校入試に合格「中央ろうきん若者応援ファンド・就労を目的とした外国ルーツの子どもの学習支援」終了
- 中央ろうきん若者応援ファンド (国際子どもクラブを含む) の取り組み報告
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 (2)  
～石井さんと出会い、泣きながら高校に入ってほしいとお願いされた～ 崔 松鶴くん
- スタッフ紹介 牛込亜紀子
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- 振返りの感想「国際子どもクラブのボランティアをして感じたこと」武田早希
- ふじみの国際交流センターを応援しています 加藤久美子さん
- 行政との協働 1/「平和記念誌実行委員会に参加して」
- 行政との協働 2/「人口減少社会突破戦略研究会に参加して」
- FICEC の活動



## 2016年夏号 (第140号)

- 一目で分かるふじみの国際交流センターの活動内容
- 活動内容・パソコン教室
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 (3) ～高校の思い出は文化祭のお化け屋敷をクラスの子たちと一緒に準備したこと～ 周さん
- スタッフ紹介「日本を知る再勉強の機会に」 松村芳枝
- 私のお国自慢 「Pride of Cebu」 吉井ジュリエッタ

- ふじみの国際交流センターを応援しています「平和な世界を築く架け橋に」駒形一夫さん
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- 寄付金控除の仕組み
- FICEC の活動報告

#### 2016年秋号（第141号）

- 富士見市国際交流フォーラム 2016 に参加しました
- 活動内容・国際子どもクラブ
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍（4）～高校はすごく楽しくて3年間あっという間だった。また戻りたいくらい～ サタールさん
- スタッフ紹介「活動内容は幅広く、訪れる人のルーツも様々」木村不二雄
- 私のお国自慢「ぜひ一度遊びに来てください」台湾・寺村壁如
- ふじみの国際交流センターを応援しています「幸せな出会い」村山光代さん
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- FICEC の HP と Facebook を紹介します
- 最近の Facebook から

#### 2017年冬号（第142号）

- あけましておめでとうございます
- 活動内容・国際理解講座で講演してきました
- 特別寄稿「ふじみの国際交流センターと私」上島直美
- スタッフ紹介 樟山直美
- 私のお国自慢「愛する我が第二の故郷ブラジル」木場ひろみ
- ふじみの国際交流センターを応援しています「いつも応援しています」立麻肇子さん（国際ソロプチミスト埼玉）
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- 寄付金控除の仕組み 法人の寄付金特別損金算入
- 最近の Facebook から

### ■9-2 ホームページ・Facebook

ホームページは「インフォメーションふじみの」、「ハローフレンズ」の最新号の PDF 掲載を引き続き行っている。HP を見ての来訪者も多いので、今後も活動の宣伝ツールとして役立てていきたい。Facebook は、毎日活動の一コマを写真と外国の方にも分かりやすい日本語で伝えてきた。また、今年度から「ハローフレンズ」に3ヶ月分をまとめて掲載中である。

	全体のアクセス数	トップページ等	インフォメーションふじみの	生活ガイドホームページ	ニュースルーム
2017年4月	38,493	1,172	10,465	8,392	6,854
5月	51,338	1,346	11,211	8,439	6,318
6月	47,718	1,046	14,613	8,385	6,409
7月	41,546	1,063	12,929	10,667	6,133
8月	40,505	956	9,964	9,520	7,590
9月	35,770	896	9,449	8,775	6,506
10月	39,970	848	12,274	8,633	6,208
11月	34,294	736	10,363	7,896	4,958

12月	33,894	916	8,837	8,584	5,446
2018年1月	39,665	895	9,725	11,512	5,744
2月	34,563	931	8,419	10,177	5,397
3月	44,648	973	11,174	12,392	8,697
計	482,404	11,778	129,423	113,372	76,260

### ■9-3 FICEC利用者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		26	28	24	28	26	27	25	28	26	27	24	25	314
来訪者	外国人	301	224	205	217	184	247	203	141	154	167	206	244	2493
	日本人	94	90	114	67	78	93	85	65	86	94	96	116	1078
	小計	395	314	319	284	262	340	288	206	240	261	302	360	3571
スタッフ	外国人	15	22	23	23	21	18	19	25	31	27	26	22	272
	日本人	134	111	139	131	148	142	138	142	135	140	124	137	1621
	小計	149	133	162	154	169	160	157	167	166	167	150	159	1893
合計		544	447	481	438	431	500	445	373	406	428	452	519	5464

### ■9-4 その他 (FICEC 独自事業を含む)

活動も20年を過ぎると外部との関わりも広く深くなる。外に出ていろいろな団体の関係者に会うと、中にいただけでは得られない、たくさんの知識や刺激を得ることができる。FICEC の活動に加えて外部と接するということは、忙しくもなり仕事も増えるが、スタッフ皆がこれからも外へ出られるようになったら良いと考えている。

4/11	イエローシートキャンペーン	12/4	ふじみ野市市民活動交流会
5/15	三芳子ども学習ひろば祝賀会	12/5	朝日子どもの貧困助成授賞式
5/21	会計監査	12/5	関東弁護士協会学習会
6/12	FICEC総会	1/29	ふじみ野市長賀詞会
7/2	川越育児院開設会議	2/7	かめのり賞授賞式
8/28	九都市合同防災会議	3/1	国際ワークショップ
9/12	インターンシップ受け入れ	3/11	ウズベキスタンの話を聞く会
9/24	富士見市国際フォーラム	3/16	若者ファンド交流会
10/2	イエローシートキャンペーン	3/19	朝日子どもの貧困フォーラム
11/20	バザー		

#### ■9-4-1 助成金・活動奨励金

FICEC は、その活動を継続し充実させるために毎年10件以上の助成金の申請をしているが、在住外国人を対象とした助成金の数は少なく、競争率も激しいためになかなか選ばれるのが困難な状態が続いていた。ところが2016年暮れに「朝日こどもの貧困助成」を、2017年2月に「かめのり賞」をいただくことができた。

●「朝日こどもの貧困助成」

日本のこどものおよそ6人に1人が貧困と言われている中で、こどもたちが環境や状況に影響されることなく、教育を受け、社会に受容され、自立して生きていけるように、こどもの貧困問題に取り組む斬新な視点や発想がある事業を公募し、朝日新聞社が助成してくださるもので、FICECは「外国人の貧困家庭の子どもや親に対する支援実例集の作成と、養成講座の開催」で申請したところ、助成していただけることになった。

1月に入って早速、28年間の体験実例をもとに在住外国人支援実例集の作成に取りかかり、3月に原稿は完成した。

●「かめのり賞」

公益財団法人かめのり財団からの活動奨励金。財団創設者の康本健守さんが、尊父のお名前（康本亀範・かめのり）をとって10年前に設立されたもの。亀範様は、韓国済州島出身で1927年18歳で日本に渡り真摯な努力と誠実な人柄でゴム会社や賃貸マンション業を営む共立ビル（株）を設立し発展させた方とのこと。奨励金の成り立ちに強く感銘を受けた。

FICECはこの奨励金で手狭になった活動場所をカバーするための多目的室を借りる家賃に当てることにした。大勢の人の交流の場として、若者たちの学習の場としてここを使ってもらい、かめのり賞の創設者の意志にもあるように「日本を好きになってもらいたい」と願っている。



■9-4-2 理事会・スタッフ会議

4/23	第6回 理事会	総会資料「27年度事業報告、28年度計画案」の検討・日本語が解らない外国ルーツの子どもをFICECとしてどう受け入れるか
4/12	第1回 スタッフ会議	若者ファンド助成金事業終了報告・富士見市役所出張相談について・27年度決算書作成・ハローフレンズ編集委員募集・子どもの写真展について
4/26	第2回 スタッフ会議	平日の子どもの学習状況・文京大インターンシップ受入・子どもの写真展・ふじみ野市防災訓練協力依頼・新事務員・新ボランティア紹介・
5/31	第3回 スタッフ会議	富士見市庁舎内生活相談のぼり旗作成・東入間遊技業防犯協力会から寄付・東京新聞取材・監査報告・総会について・共有パソコンの購入・平日の子どもの学習
6/12	第18回 通常総会	2015年度(平成27年度)事業報告、決算報告・2016年度(平成28年度)事業計画、予算
6/12	第1回 理事会	新旧理事顔合わせ・役員選出
6/21	第4回 スタッフ会議	パソコン購入・20周年または25周年事業について・災害時のFICECの役割、インターンシップ受入、ふじみ野市外国人生活困窮者の学習支援・20周年記念行事について・日本テレビ取材・富士見市国際フォーラムについて

7/5	第5回 スタッフ会議	平日の子どもの学習状況・日本語教室の現状報告・上福岡七夕まつり参加について・富士見市国際フォーラム参加協力依頼・多文化共生推進研究の為の外国人インタビューの候補者依頼について・日本工業大学の外国人関係ソフト開発中間発表招待
7/26	第6回 スタッフ会議	夏休み中の国際子どもの学習・日本語教室報告・富士見市出張生活相談の現状・富士見市国際フォーラム「世界へのとびら」打ち合わせ・外国人案内育成ボランティアのコーディネーター推薦依頼・8/28 9 都県市合同防災訓練の協力依頼
8/23	第7回 スタッフ会議	国際子どもクラブ実情報告・9/24 富士見市国際フォーラム「世界へのとびら」・日本テレビ「news every」取材について・立教大のボランティア受け入れ団体申し込み依頼
9/27	第8回 スタッフ会議	ふじみ野市児童センター運営委員報告・インターンシップ完了報告・9 都県市合同防災訓練報告・ふじみ野市市民活動交流会・28 年度組織図確認・インフォメーションふじみの、ハローフレンズ秋号企画
10/11	第9回 スタッフ会議	日本テレビ「news every」取材終了・オリンピック通訳研修経過・埼玉県国際交流協会「国際フェア」報告・謝金見直し・FICEC5 か国語リーフレット作成
10/25	第10回 スタッフ会議	助成金申請状況・FICEC の事業の記録方法について・外国人専門派遣会社からの依頼について
10/29	第2回 理事会	各種助成金申請状況と課題・28 年度上半期会計報告・国際子供クラブ近況報告・文書保存と個人情報保護のための取り組み・FICEC 運営意見交換・新年会
11/8	第11回 スタッフ会議	理事会報告・勉強が苦手な高校生について・文書保存と個人情報保護・新年会・マイナンバーについて
11/22	第12回 スタッフ会議	助成金申請状況・文書保存と個人情報保護について・11/20 バザー報告・国際子どもクラブの近況・日本語教室近況
12/13	第13回 スタッフ会議	朝日子どもの貧困助成金受賞報告・関沢小学校国際理解講座報告・年末調整について・ふじみ野市市民活動交流会報告・「かめのり賞」奨励金の使い方について・新年会について
12/27	第14回 スタッフ会議	朝日子どもの貧困事業申請の詳細・「かめのり賞」奨励金使い方について・中央ろうきん若者ファンド2017 助成申請
1/17	第15回 スタッフ会議	印刷機の故障について・「朝日子どもの貧困助成事業」経過報告・中央ろうきん若者ファンドプレゼン
1/21	第3回 理事会	近況報告と今年の抱負・活動報告と課題・助成金・報奨金受理に伴う新規事業
1/31	第16回 スタッフ会議	各事業の進捗状況・平成29 年度予算各要望について
2/14	第17回 スタッフ会議	「かめのり賞」受賞報告・助成金申請報告・印刷機購入について・奨励金で新しく設けた部屋の使い方について・ふじみ野市文化スポーツ委員会委員
2/28	第18回 スタッフ会議	28 年度特別会計報告
3/14	第19回 スタッフ会議	医療生協大井協働診療所から連携依頼・5 行歌展示会・ふじみ野市地域・スポーツ振興課多文化共生イベント
3/28	第20回 スタッフ会議	28 年度各事業報告と29 年度事業計画の提出について・第19 回総会について・ふじみ野市文化スポーツ振興課「アートフェスタ」参加と実行委員について・当番一覧

## 2017 年度(平成 29 年度) 事業計画案

前年末に朝日新聞社から頂いた助成金での「外国人支援事例集」作成と、かめのり財団から頂いた「多目的活用室」開設準備が着々と進んでいるが、外国人支援に対する社会の理解や協力はなかなか得られない気がする。短期的な成果が出にくい活動であるだけに、創設期よりは少しは良くなったものの、評価を得るのは難しい。

どうすれば必要なところに活動が届けられるのか、どうすれば活動の持続可能性を高められるのか、どうすれば外部の協力者を増やすことができるのか、毎日の葛藤が続く。

この 20 年間、あらゆる機会を活用して FICEC の活動から見えてきた外国人事情を発信してきたつもりだが、社会を動かすことはできなかった。

NPO 活動が、サービス事業と政策提言の両輪であると考え、地道に事業を継続しながらも問題点を洗い出し、どこに中心点を置いてその必要性を訴えたらよいか、皆で検討しなければいけない時期に来ていると思う。

長い目で見て、どういう社会にしたいのか皆に問いかけ、FICEC の活動実績を可視化したい。今年度は特に、次世代に投資する事の大切さを説くなどして、効果的な政策提言につなげていきたいと考えている。

(文責：石井ナナエ)

	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10 名	600 件
	シェルター	通年	FICEC	10 名	延 300 名
	DV 講習会・生活相談勉強会	10 回	FICEC、県内	10 名	300 名
	パソコン教室	第 2,4 木曜 24 回	FICEC	2 名	延 150 名
国際理解と国際交流の推進	国際理解講座	20 回	大学・市役所等	12 名	3,000 名
	国際交流サロン	5 回	FICEC	6 名	200 名
	大学との協働	1 大学	FICEC、県内	3 名	100 名
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6 回 3,000 部	FICEC	13 名	10 万人
	生活ガイド HP 維持管理	3 回	FICEC	8 名	アクセス数 120,000 件
	翻訳	随時	FICEC	15 名	埼玉県民
	出版、編集	随時	FICEC	10 名	埼玉県民
外国人児童及び成人への日本語学習支援	日本語教室	木曜	FICEC	12 名	延 400 名
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜、 平日 4 回	FICEC	15 名	延 1,200 名
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	20 名	埼玉県民
NPO への助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	20 回	県内	3 名	埼玉県民
その他	機関誌の発行	季刊	FICEC	10 名	6,000 部
	ホームページ Facebook	随時	FICEC	8 名	アクセス数 500,000 件

## ■生活相談

テレビの影響で日本各地から相談が入るようになった反面、業務委託先である富士見市・三芳町からの相談が少なく委託金との関係で、困っている。富士見市は一昨年からは、週1回富士見市役所出張生活相談を行なっているが、三芳町からも何とかしてほしいと言われている。今年は手始めに三芳町在勤の外国人について調査をして、在住ではないけれど三芳町町内の企業に勤めている外国人の方に、生活相談の情報を提供したいと考えている。

## ■シェルター

中古の生活用品を備蓄しておき、シェルター入居者はもとより、継続支援のDV被害者がいつでも利用できるようにしておきたい。

## ■国際理解出張講座

ヘイトスピーチ等に対する外国人の感想を聞きたいという社会の要望と、昨年からの好評に基づき、外国人スタッフの出張依頼が増えると思う。

地域の人々に伝達・啓発するだけでなく、報酬を得ることによってFICECに係わっている外国人の自立支援の一環になるよう、できるだけ多くの外国人スタッフが対応できるように、研修の機会を設けたいと考えている。



## ■「インフォメーションふじみの」

- ① 隔月刊で発行のため企画に腐心する。そこで220号までの実績を洗い直し話題となった、あるいは良かったと思われるものを視野に入れながら年度初めに企画立案を図りたい。
- ② オリジナルな表紙デザインは、毎月力作を頂く日本語教室のボランティア林さんに引き続きお願いしたい。
- ③ 編集方針は変わらないが、特に企画の段階でFICECの活動を知っていただく機会を多く持つべきではないかと思う。



## ■日本語教室



- ① 可能な限り今年から課外授業ができないかと思う。勉強だけではなく日本人と外に出て触れ合うことで日本語に慣れるようにという企画もあってよいのではないかと。出来れば予算化もしたいが・・・
- ② 時間のある折に意欲的に行ってください、日本語教師の資格を有するスタッフの「日本語の教え方」指導、ボランティアの実力アップに大きく影響しているものと思われるので、引き続き担当していただきたいと考える。
- ③ 平成29年度も日本文化の体験イベントを考えたい。内容的に新鮮味を感じられるものも含めて4から5回は実施できないか。ときには親睦を兼ねて、学習者企画も考察したい。
- ④ 日本工業大学の日本語教材の開発も引き続き実施される。とくに完

成した「漢字のおぼえかた」利用方法を拡大したい。自習による日本語学習、自宅での学習ソフト等に利用する事を視野に入れ、東上線沿線日本語教室の協力も頂き、学習効果をあげていければと考える。

- ⑤ 季節のイベントに、学習者の参加を呼び掛け、母国のイベントを紹介していただき FICEC 内で盛り上げられないかを試行したい。日本語教室時間延長も視野に入れながら実施したい。

## ■国際子どもクラブ

- ・今年度は大勢の受験生を抱えることになる。  
中学 3 年生 3 名 FICEC で勉強する高校受験希望者 2 名 大学受験生 2 名  
それぞれが、希望の学校へ進学できるように支援していきたい。また、これからも増えると予想される進学希望者に、どう対応するか体制を考えていきたい。
- ・20 名近いボランティア支援者のもっている力を、有効に活用できるような体制も考えていきたい。

## ■日本工業大学との協働による学習ソフトの開発

本企画は 3 年生の研究課題として開発されており、年が変わるごとに新しい 3 年生が企画を引き継いで完成を目指すという方式をとっている。

企画内容については、より使い勝手のある物を研究したいとの話もあり、年間を通して交流を密にし、作業の進捗に協力したい。可能ならば並行して文字媒体によるテキストの作成も視野に入れられないかも検討素材としている。本年は、完成品を入手できそうなので、実際に学習者に使用してみたい。なお、今後も大学との協働事業として開発をお願いできるのであれば、日本語教室と言う範疇から FICEC 一丸となるソフトの開発も視野に入れたい。

## ■特別事業

- ・朝日子どもの貧困助成事業：外国人支援事例集の印刷、配布と生活相談窓口開設のための手伝い  
4 月は専門家による原稿の最終チェックに入っている。5 月に製本を依頼し、6 月から「外国人生活相談窓口開設のためのボランティア養成無料講座」を開催する予定である。  
外国人相談窓口設置の必要性を感じながらも躊躇している県内各地の行政職員や市民に、開設時のノウハウや運営方法、支援の仕方等を伝えたい。
- ・多目的活動室の整備と活動計画

大勢の人たちから意見を聞いたり、他団体の例などを参考に有効的な活用を図っていききたい。

